別紙様式２号

# 都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業
Ⅰ　産地競争力の強化・輸出拡大に向けた広域集荷環境の整備を目的とする取組用

（石川県　令和２年度）

| 市町村名 | 事業実施主体名 | メニュー①（対象作物・畜種等名）① | 成果目標の具体的な内容① | 事業実施後の状況① 計画時（平成28年） | 1年後（平成30年） | 2年後（令和1年） | 3年後（令和2年） | 4年後（●年） | 5年後（○年） | 目標値（令和2年） | 達成率 | 成果目標の具体的な実績① | メニュー②（対象作物・畜種等名）② | 成果目標の具体的な内容② | 事業実施後の状況② 計画時（△年） | 1年後（□年） | 2年後（◇年） | 3年後（▽年） | 4年後（●年） | 5年後（○年） | 目標値（○年） | 達成率 | 成果目標の具体的な実績② | 事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力 | 事業費（円） | 負担区分（円） 交付金 | 都道府県費 | 市町村費 | その他 | 完了年月日 | 事業実施主体の評価 | 都道府県の評価 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 志賀町 | 志賀農業協同組合 | 果樹（ころ柿） | ▼【農畜産物輸出に向けた体制整備】▼事業実施地区において輸出向け出荷割合の増加 | 輸出向け出荷量6トン（平成28年度） | 輸出向け出荷量5.6トン（平成30年度） | 輸出向け出荷量8.2トン（令和1年度） | 輸出向け出荷量8.7トン（令和2年度） | | | 輸出向け出荷量8.1トン（令和2年度） | 107% | 輸出向け出荷量が45%増加した | | | | | | | | | | | | 干し柿乾燥機3台、専用台車56台、全自動皮むき機2台、自動包装機2台（120個/分）、除湿機（室内エア循環システム付）3馬力 4台 電気・排水・空調設備一式 | 65,480,400 | 29,029,000 | 0 | 0 | 35,400,400 | H31.3.29 | セロハン包みから個包装に変えたことで、化粧箱の販売だけではなく、バラや小規格など安価な販売アイテムが増えたことで、客層幅が拡がり輸出量が増加した。 | 事業による機械等の導入により、加工・包装作業の省力・効率化が図られ、生産量の増加につながった。また、従来の化粧箱での販売に加えて、個包装での販売を開始したことにより、多様な販売形態が可能となり、客層が拡がり、輸出量が増加した。 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 都道府県平均達成率 | 100% | 総合所見 | 事業による機械等の導入により、加工・包装作業の省力・効率化が図られ、生産量の増加につながった。販売面でも、従来の化粧箱に加えて、個包装での販売を開始したことにより、バラ販売や他の青果物と組み合わせた販売が可能となり、少量購入を希望する消費者や、多様な販売方法を模索する実需者から高評価を得た。また、Ｈ２８年のＧＩ登録など、国内外でのブランド力強化に取り組んできており、これらの結果、輸出量の増加につながり、目標値を達成することができた。 |
|---|---|---|---|

（注）１　別紙様式１号の２のＩに準じて作成すること。

２　別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。

３　「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。

４　「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。

５　「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。